

## 目次 contents

- P1 ■ 令和5年度県民の日記念式典  
第55回シラコバト賞
- P2 ■ 支援型自動販売機  
■ 新規会員募集
- P3 ■ 市町村コミュニティ協議会の  
取組
- P4 ■ 会員紹介

## 令和5年度 県民の日記念式典



11月14日(火)に埼玉会館にて「令和5年度 県民の日記念式典」を開催しました。

式典では、彩の国コミュニティ協議会主催のシラコバト賞の表彰が行われ、受賞者の代表に当協議会会長 大野 元裕 埼玉県知事から賞状、副賞が授与されました。他にも知事表彰や小中学生の絵画・作文コンクールの表彰も行われました。

## 第55回 シラコバト賞

日頃、身近なところで、住みよい地域社会の実現のために、多くの方々が積極的な活動を行っています。そうした活動を行う個人及び団体へシラコバト賞を贈呈し、その活動と功績を顕彰しています。

令和5年度の受賞者は、個人169、団体31の200件でした。

## 受賞者を代表して登壇していただいた4名の方を御紹介します

### 心のふれあいを深める活動

#### 関口ヒサ子氏 (狭山市)

地域に残る昔話から紙芝居を作成し、市内小学校や公民館で読み聞かせを行うなど、児童育成・地域活性化に携わっています。



### 健やかな心身を育てる活動

#### 小林 典郎氏 (蕨市)

機まつりや宿場まつりなど、地域の祭りで音楽ステージの企画運営に携わり、若者の成長に大きな役割を果たしています。



### 住みよいふるさとをつくる活動

#### 荒井 清氏 (さいたま市)

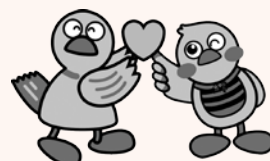
少年の健全育成や各種犯罪防止を目的に、地域住民と共にパトロールを行うなど防犯活動に取り組んでいます。



### 郷土を知り、郷土を想う活動

#### 表いずみ会 (川島町)

盆踊りなどの地域行事だけでなく、町主催の郷土芸能祭にも参加し、その活動は伝統文化の継承、万作の振興の一助となっています。



埼玉県マスコット  
「コバトン」「さいたまっちゃん」



# 特集 コミュニティ活動支援型自動販売機を設置しませんか？

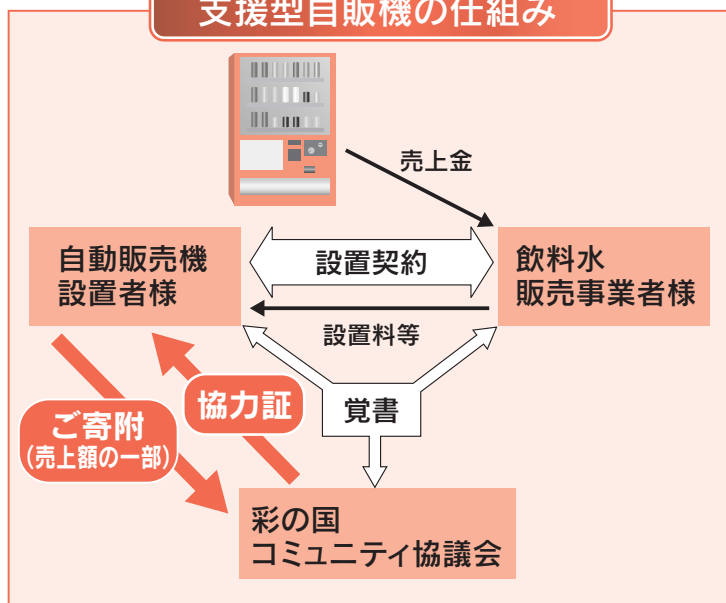
彩の国コミュニティ協議会では、会員事業者様をはじめとする施設管理者様に「コミュニティ活動支援型自動販売機」の設置をお願いしています。

支援型自販機とは、自販機による売上金や販売手数料の一部を当協議会にご寄附いただくものです。

寄附金は、当協議会から市町村コミュニティ協議会に助成金として交付され、各地域のコミュニティ活動を推進する事業に用いられます。

会員事業者様も、そうでない方も、「協力できるかも」「話を聞きたい」という方は、協議会事務局までお気軽にご連絡ください。

## 支援型自販機の仕組み



◀設置・寄附者  
毎日興業(株)様  
場所  
ふじみ野市立市民交流  
プラザ「フクトピア」



設置・寄附者▶  
(公財)いきいき埼玉様  
場所  
埼玉県県民活動  
総合センター

彩の国コミュニティ協議会  
マスコット「サイコミ君」のラッピング例

## 支援型自販機 導入に関するQ&A



どのくらい寄附すればいいの？

覚書を交わす際に、寄附割合や「〇円／1本あたり」など、個別に設定することができます。4月に前年度売上分の寄附額をご入金ください。

ラッピングが設置場所の雰囲気  
合わないかも……。

ラッピングなしでも設置できます！ 他のキャラクターや  
イラストと一緒にラッピングも可能です。



**支援型自販機を設置して、地域コミュニティ活動を支援しませんか？**  
既に導入されている設置者様の、追加設置も大歓迎です。お気軽にご相談ください。



## 新規会員募集中！ 個人でもご入会いただけます

彩の国コミュニティ協議会は、「豊かな彩の国づくり」を目指し、住民・企業・行政が一体となって、知恵と力を出し合い、住みよい地域社会づくりを進めるため、様々な取組を展開しています。年会費は1口5,000円で、団体会員は1口以上、企業及び行政会員は2口以上です。

協議会の活動をご支援したい個人の方は、賛助会員としてご入会いただけます。年会費は1口2,000円です。1年だけの入会ももちろん歓迎です。

お電話でお申し込みいただけます。(TEL: 048-830-2817)

### 入会のメリット

- 入会記念として「サイコミ君」のストラップ・反射シールをプレゼント
- 会報「広げようコミュニティの輪」を毎月送付
- 会報で会員の取組(団体会員、企業会員)を紹介
- 埼玉県ホームページでの企業・団体名、バナーの掲載



▲入会についてはホーム  
ページもご覧ください



## 市町村コミュニティ協議会の取組

彩の国コミュニティ協議会では、市町村協議会が行う事業に対して助成をしています。今年度の助成事業について、一部御紹介します。

### 安心安全のまちづくり推進事業(三芳町区長会)

三芳町には14の行政連絡区があり、区ごとに防犯活動や防災訓練を実施し、安心安全のまちづくりを目指しています。その活動を知ってもらい、加入・参加するきっかけになってほしいとの思いから、三芳町区長会ではパネル展示などの広報活動を実施しました。

町全体で行う「地域連携避難訓練」の日にあわせて防災パネル展を公民館で開催し、訓練参加の呼びかけとともに、自助・互助の大切さや、区や自治会の活動に参加することで防災力を高められることを発信しました。

また、町の産業祭では、ミニ防災パネル展と同時に、自治会の加入未加入アンケートを実施し、回答いただいた方へ啓発品をプレゼントする抽選会も開催しました。539人の方にアンケートにご協力いただき、区や自治会活動の普及啓発をすることができました。

今後も、1人でも多くの方に加入・参加いただき、地域の力で安心安全のまちづくりを推進していきたいと思います。



▲産業祭の様子



▲防災パネル展



### コミュニティ映画会(伊奈町コミュニティづくり推進協議会)

伊奈町コミュニティづくり推進協議会では、11月12日(日)に伊奈町総合センター大ホールにて「コミュニティ映画会」を町文化祭に併せ開催しました。この映画会を通してコミュニティの輪を広げ、心豊かなふれあいのある地域を目指しています。当日は寒い中、親子連れをはじめとした地域住民の方に足を運んでいただきました。

また、映画会前には、防犯・防災啓発ビデオの上映、ポスターの掲示、啓発品の配布等により防犯・防災・交通安全に対する意識を高めていただけるよう啓発活動を行いました。

さらに、会場には彩の国コミュニティ協議会のマスコットキャラクターの「サイコミ君」も登場し、子供たちと戯れたり、この活動をPRしたりと大活躍でした。

今後も活動を通じて、心豊かなふれあいのある地域づくりを推進していきたいと思います。



▲コミュニティ映画会の様子



▲子供たちと戯れるサイコミ君

### クリーンで美しいまちづくり事業(寄居町コミュニティ協議会)

寄居町コミュニティ協議会では、令和5年度のテーマとして、『クリーンで美しいまちづくり』を掲げ、活動を実施しました。

1人1人が自主的かつ積極的に環境保全に配慮した取り組みを行えるきっかけづくり、そして、エコ意識の向上を図るために、寄居町産業文化祭の来場者に啓発品として繰り返し利用できるエコバッグを配布しました。その後、地域活動の重要性のPRを兼ねて公共施設の環境美化を図るための清掃活動を行いました。

初めての事業でしたが、産業文化祭の来場者そして町民の皆様に対して、環境配慮行動への意識を高めることができました。

今後も町民の皆様笑顔が溢れるまちづくりに努め、全町的な取り組みを通して地域間の繋がりを強固なものにしていきます。



▲啓発品配布の様子



▲清掃活動の様子



### 東京新聞さいたま支局

東京新聞は、中日新聞社（名古屋市）の東京本社（千代田区）が発行し関東1都7県に届けている日刊紙で、9月に創刊140周年を迎えます。県内にはさいたま支局と熊谷、川越、秩父、羽生、越谷市に取材拠点があり、地域の話から事件事故まで幅広く報道しています。

少子化の今、次世代育成への貢献は新聞の使命の一つ。紙面やウェブサイト「東京すくすく」で子どもや子育てに関する記事を積極的に掲載しているほか、支局では昨夏、さいたま市の中学生職場体験事業に協力しました。市立大谷場中学校の2年生3人を受け入れ、原爆被爆者への取材に挑戦してもらいました。

また、80年以上の歴史を持つ本紙主催「全国舞踊コンクール」は若手舞踊家の登竜門として知られ、県内からも多く踊り手が受賞しています。

東京新聞は今後も地域の発展に尽力していきます。



▲2023年全国舞踊コンクール  
バレエ第一部1位  
オーム・ソフィアさん(さいたま市)



▲職業体験で原爆被爆者へ  
取材する中学生ら

### (一社)埼玉県医師会

埼玉県医師会は、昭和22年に社団法人として設立、平成25年には一般社団法人となり、現在、県内の病院、診療所、老健施設等の医師、約7,600名が加入している医療の専門団体です。

地域住民の方々の健康で健全な日常を確保するために、かかりつけ医、在宅医療、救急医療、地域に根ざした活動（地域保健活動、母子保健活動、学校保健活動、産業医活動、健康スポーツ医活動など）等に取り組み、県民の健康の保持・増進に努めています。

新型コロナ禍では、県行政と協力し、様々な課題に取り組み、全国に先駆けて診療・検査医療機関の公表もいたしました。現在、5類感染症に移行されましたが、まだまだ予断を許さない状況で、今後も県行政とともに対応してまいります。

埼玉県医師会はこれからも、県民が安心・安全に暮らせるよう、各種事業を推進してまいります。



▲PCRセンターの様子



▲乳がん検診セミナー

### 埼玉県交通安全対策協議会

埼玉県交通安全対策協議会は、昭和39年に「交通の安全と円滑化、交通事故の防止」を図る事を目的として発足しました。知事を会長として、県内の行政機関、学校教育関係団体、交通安全団体、民間企業など160の機関・団体が構成されています（令和5年4月現在）。行政や民間など、県内各層が一体となって効果的な交通安全対策を展開していくため様々な活動を行っています。

主な活動の一つである、交通遺児等の援護では、「交通遺児援護基金」を設立し、いただいた寄附金を県内在住の18歳以下の交通遺児等（交通事故により、死亡または重い障害を負った保護者に養育されている子ども）を対象に援護金及び援護一時金を給付しています。

そのほかにも、各季の交通安全運動の推進、交通安全に関する情報の発信、交通功労者等への表彰式など、様々な活動を行っています。



▲交通安全功労者等表彰式



▲埼玉県交通安全対策協議会  
ご寄附のおねがい